

# 木炭作りに挑戦

吉井入野小  
6年生42人

森林資源の有効活用を考えた吉井町入野小学校(宮沢位佐男校長)の六年生児童四十二人が二十六日、同町小棚の炭焼き窯で炭焼き体験を行った。体験は県の緑化推進事業の一環で行われ、藤岡環境森林事務所が主催。木炭作りの原理を知ってもらい、人と森が共生することの大



窯から取り出した木炭を積み重ねる子供たち

切さを理解してもらったのが狙い。

同事務所の職員と多野藤岡木炭協会のメンバーが木炭の焼き方や使用方法、水質浄化などの特性などを紹介。子供たちは指導を受けながら窯から木炭を取り出す作業などを体験した。その後、取り出した木炭を使って地元農家で採れたシイタケを焼き、子供たちがおいしそうに味わっていた。

炭焼き体験をして、四十名が炭の父西女

木炭作りの原理を知ってもらい人と森が共

生すも大切さを理解した

児童四十名が感想文を作り一部ですが

灯りにさそいます、全部心(要)であふは送付します

入野小学校

排水水も  
水質浄化するため

排水

池の水質等を飼育しているのでよくより木炭

の要請があり  
軽トラ一台は持っていたやつら